

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 海老名市障害者第三デイサービスセンター
(通称：あきば)

平成29年3月23日



神奈川県茅ヶ崎市松浪1-1-12
特定非営利活動法人介護の会まつなみ
理事長 島村俊夫

特定非営利活動法人介護の会まつなみ評価事業部 評価結果

1 事業所基本事項

フリガナ	エビナシショウガイシヤダイサンデイサ-ビスセンタ-(ツウショウ:アキバ)
事業所名 (正式名称を記載)	海老名市障害者第三デイサービスセンター (通称:あきば)
事業所住所 最寄駅	〒243-0431 神奈川県海老名市 上今泉6-11-15 相鉄線 かしわ台駅下車 バス・徒歩 15分
事業所電話番号	046-232-3893
事業所FAX番号	046-232-6290
事業所代表者名	役職名 管理者 氏名 池下 幸江
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人 星谷会 法人代表者氏名 理事長 安藤 浩己
URL	http://www.hoshiyakai.com/
e-mail	spnu67b9@aurora.ocn.jp
問合せ対応時間	8:30~17:15(月~金)

事業所の概要1

開設年月日	平成18年10月1日
定員数	生活介護 30名 就労支援B型 10名
都市計画法上の用途地域	第1種低層住居専用地域
建物構造	鉄筋コンクリート造り 2階建て
面積	敷地面積 (662,620)㎡ 延床面積 (580,3)㎡
居室あたり的人数 (入所施設の場合のみ)	個室()室/二人部屋()室/三人部屋()室/四人部屋()室

事業所の概要2(職員の概要)

総職員数	16名 (下記の職員数に 園長名 事務員名 栄養士名 調理員名含めた総数)
うち、次の職種に該当する職員数 (実人員数を記載)	管理者(常勤 1名) サービス管理責任者(常勤 1名) 職業指導員(常勤 1名) 目標工賃達成指導員(常勤 1名) 生活支援員(常勤4名 非常勤4名) 看護師(非常勤 1名) 嘱託医(非常勤 1名) 運転手(非常勤 1名)
事業所PR 評価に臨んで事業所としてアピールしたいこと	自己選択・自己決定の機会を大切に、利用者個々の障がい特性に合った支援が出来る様、支援内容の充実を目指しています。

2 基本的サービス評価(評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行なった結果です)

大項目	第三者評価コメント
人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ○「人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるよう支援することを責務とする」と明記した人権マニュアルを作成し、職員に配布して人権の尊重の基本理念を周知させている。 ○法人研修委員会では年間の研修計画を立て、毎年度、権利擁護の研修を実施し、職員会議、支援会議での人権に関する意見交換を通して人権教育を行っている。 ○人権擁護委員会では、これまでに「さんづけ」の適切な呼称の統一を図っているが、「人権擁護チェック表」を用いて職員自身で支援の振り返りを行う機会を作っている。 ○虐待の具体例を掲示し、職員と利用者、家族の双方が虐待に対する知識と意識を向上させ、虐待や人権侵害等がないかの気づきを生むことで、支援現場での不法行為を防止し、プライバシーに配慮した利用者の権利の保障につなげている。 ○車椅子の方に対してバンド等の使用については、危険防止の為ご家族の同意のもと使用している。
意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供	<ul style="list-style-type: none"> ○個別支援計画作成マニュアルに従って、相談支援事業所による総合的なサービス利用計画に始まり、年1回のアセスメント、年2回のモニタリングで利用者の特性、本人、保護者のニーズと課題を把握して個別支援計画を作成している。 ○短期、中期、長期の目標を設定した半期ごとの個別支援計画作成に当たっては支援会議を開き、職員全体で共通した認識での理解を図っている。 ○利用者の変化、目標達成度の確認と本人の満足度をモニタリング報告書に記録し、今後の支援の継続や見直しを検討し、次回の個別支援計画作成につなげている。 ○支援の現場では、利用者の希望でその日の作業を選択することもでき、絵や写真によるわかりやすい作業手順書を掲示して作業に取り組みやすい工夫をしている。 ○本人のニーズや興味のあるもの、できそうなものから取り組みをはじめ、外出や買い物を通して地域とのつながりを持つ機会を作り、スモールステップを実施して自信と楽しみを感じてもらうことを大切にしている。 ○こうした日々の支援を継続し、関係機関との連携を取りながら、将来を見据え自立した日常生活や特性に応じた就労に繋げている。
サービスマネージメントシステムの確立	<ul style="list-style-type: none"> ○生活支援マニュアルを整備し、利用者の特性、意向に基づいた安心、安全な支援を実施している。 ○生活環境整備マニュアルが作成され、毎日の清掃、2か月ごとの業者による清掃で食堂、作業室、トイレは清潔に保たれている。 ○クールダウンできる部屋、障がい特性に合わせた作業台、治具、食器等を用意し、利用者自治会での音楽、ダンスをしたいという利用者の希望を取り入れた生活環境を提供している。 ○毎月、清掃衛生面点検簿で清掃、消毒の確認を行っているが、毎日の清掃時にも清掃チェック表等使用して、清掃箇所の確認を行っていくことが望ましい。 ○リスクマネジメント委員会で、事故報告、ヒヤリハットの報告・分析・対応を行い、個別支援計画に反映させると共に苦情解決システムを整備し、苦情の申し出をしやすい取り組みを行っている。

	<p>○感染症マニュアルを作成し、健康診断、体温、血圧測定で体調確認による感染予防を重視し、感染時には罹患者への適切な対処を行っている。</p> <p>○救命救急マニュアル、防災マニュアルが作成され、協力病院、消防署、家族との情報共有、連絡方法を整えている。消防署とは近隣であるため、事業所や利用者の特性の理解につながる情報交換を行っているが、緊急事態発生時の被害拡大防止にあたっての具体的防止策をマニュアルに記載することで、職員の理解と迅速で適切な行動につながると期待できる。</p>
地域との交流・連携	<p>○将来、可能な限り地域での自立した生活が継続できることを念頭におき、地域との交流と連携を図りながら、日常生活上の援助、日中活動支援を行っている。</p> <p>○「えびな この町でくらそう」の開催、上今泉コミセンまつりの参加、夏休みを利用しての学生のユースボランティア活動体験、地域の小学生との陶芸教室、施設の研修参加への呼びかけ等地域との積極的な交流を実施している。</p> <p>○地域に出かけ、同時に施設を開放しての交流は、施設の活動の周知と、障がい者への理解を深めてもらう機会となっている。</p> <p>○養護学校との交流、市との月1回のモニタリング、自立支援協議会との連携会議を通して地域の福祉のニーズの把握と具体的な活動を展開している。</p> <p>○今後、サロン活動や生活困窮者への相談を行うライフサポート事業を法人として検討している。</p> <p>○陶芸、手芸、絵画等の利用者の自由な発想の作品は、展示会、バザーへの出品を通して多くの方が見てくださり、華道展での花器の依頼、座間キャンプ職員への600個の一輪挿しの納品につながっている。</p> <p>○自治会や地域からのチラシや名刺の継続した作業依頼は、安定した工賃や自信となり、活発な作業活動と楽しみになっている。将来の目標である地域での自立した生活に向け、地域と連携し日々の支援を積み重ねている。</p>
運営上の透明性の確保と継続性	<p>○ホームページに理念、サービスの種類、支援内容を掲載すると共に、決算報告と経営状況を公開し、運営上の透明性の確保と継続性を図っている。</p> <p>○事業計画に加え第2期中期事業計画を作成し、第1期の未達成の項目を整理し、基本目標と新たな課題をまとめて、着実に具体的な事業展開を目指している。</p> <p>○理事長による内部監査を行っており、各事業所の改善事項を明確にして支援体制の安定を図ると共に、階層別会議や職員との面談で提案を取り上げ、具体的な環境整備を整えて、経営、業務の効率化と改善に努めている。</p> <p>○29年度には施設としての自己評価実施の計画を進めており、自己評価結果を利用者、家族、地域に公開することで、さらに信頼される事業展開につなげようとしている。</p>
職員の資質向上の促進	<p>○職員の資質向上を図り、法人の理念を支援現場で実施していくため、法人研修委員会により年間の研修計画を作成し、主任職、管理職、幹部クラスの階層別研修、内部研修、外部研修を実施している。</p> <p>○法人職員交流会、初任者研修では施設理念、施設方針を職員に伝えており、新人職員には必ず接遇研修を受講させて、基本的な援助態度を習得させている。他事業所の研修への参加と人権擁護チェック表を利用して、自身で支援の振り返りを行う機会も設けている。</p> <p>○管理職による経営会議、27年度より立ち上げた職員採用チームで人事管理体制を整え、事業計画、人事管理方針に基づき人材確保に当たっている。</p> <p>○職員の資格取得手当、自主研修補助、昇格考課実習、福利厚生の実施を図り、</p>

	<p>安心、安全な就業環境を整えることで、職員の勤労意欲を向上させ、サービスの質の向上を目指している。</p> <p>○研修報告書は資料とともに回覧されているが、職員会議等の場で研修報告の発表と意見交換を行うことで、より高い知識、技術の理解と研修内容の共有につながることを期待できる。</p> <p>○実習マニュアルを作成し、実習担当者の指導の下、実習生の受け入れを行っている。将来の福祉従事者の育成に当たると共に、実習生の指導を通して、職員の支援の気づきと自らの支援を見直す機会にもなっている。</p>
--	--

<p>基本的サービス評価の総括コメント</p> <p>利用者自身が主体となり、持っている力を伸ばしていけるよう支援するとともに利用者自身が自己選択、決定できるように活動や作業の支援方法を検討している。近隣地域から施設の理解を得られ、仕事の依頼もあり、協力を得られている。また、収穫した野菜を散歩中の近所の方々が施設に寄って買ってくれている。利用者には励みとなっている。</p> <p>各マニュアルは整備されているが、各マニュアルを整理し、よりわかり易く、使いやすいマニュアルの整備が望まれる。</p>	
---	--

2-2 日常生活の支援に関する事業所アピール

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行なった結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
食事支援の取り組み	<p>注文弁当業者2社から利用者本人が希望するメニューを食べて頂ける様、メニュー表をわかり易く詳細化して決めて頂いている。</p> <p>食事支援においては、楽しい環境で食べて頂ける様、雰囲気作りに配慮している。また、刻み食や一口大に切り分ける等、誤飲・誤嚥に配慮して食事を提供している。その際、食べやすい容器の選定、用具等の自助具を工夫している。</p> <p>体重増加傾向にある利用者についてはカロリー計算された弁当を提供している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○注文弁当2社より本人が希望するメニューを注文している。 ○メニュー表はわかり易く詳細化している。メニュー表を確認した。 ○食事時の支援においては楽しい環境作り、雰囲気作りに職員との会話や利用者の雰囲気や注意し、言葉がけに心掛けている「食事支援マニュアル」に記載されている。 ○各利用者の食事の形態や留意点を記載した「食事カード」を作成してあり、食事時のセッティングの時に使用している。誤飲、誤嚥に配慮して刻み食や一口大に切り分ける等配慮している。カロリー計算された弁当を提供している。 ○食べやすい容器の選定、用具等の自助具を工夫している。食事支援においては、楽しい環境で食べて頂ける様、雰囲気作りに配慮している。
排泄支援の取り組み	<p>意思表示が困難な利用者については、定時排泄にて支援を行っている。</p> <p>介助が必要な方については、ふき取りや衣類の着脱等安全に配慮して支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○意思表示が困難な利用者については、「排泄記録カード」を作成してあり、定時排泄にて支援を行っている。 ○介助が必要な方については、ふき取りや衣類の着脱等安全に配慮して支援を行っている。ことを「排泄支援マニュアル」で確認した。
入浴支援の取り組み	<p>季節に応じた温度設定を行い、利用者個々の適正に合わせ、脱衣所、浴室、浴槽内にマットや介助用具を用意している。</p> <p>入浴前に健康状態の確認・必要に応じたトイレの誘導を行っている。</p> <p>入浴する際は転倒等の危険が無い様、安全に十分配慮して行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○季節に応じた温度設定を行い、利用者個々の適正に合わせ、脱衣所、浴室、浴槽内にマットや介助用具を用意している。 ○入浴前に健康状態の確認・必要に応じたトイレの誘導を行っている。 ○入浴する際は転倒等の危険が無い様、安全に十分配慮して行っている。 <p>以上の内容については入浴支援マニュアルで確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あきば」においては自宅での入浴が困難な方や、アトピー等皮膚炎のため清潔を保つため、希望者に対して入浴支援を行っている。 ○季節に応じた温度設定を行い、利用者個々の適正に合わせ、脱衣所、浴室、浴槽内にマットや介助用具を用意している。入浴前に健康状態の確認・必要に応じたトイレの誘導を行っている。 ○入浴する際は転倒等の危険が無い様、安全

		に十分配慮して行っている。
整容支援の取り組み	<p>介助が必要な方に対しては、必要に応じて支援を行っている。</p> <p>本人で整容出来る利用者については、声掛けを行っている。</p> <p>有償整容サービスを月に 1 回提供している。</p>	<p>○介助が必要な方に対しては、必要に応じて支援を行っている。「支援計画」で確認した。</p> <p>○本人で整容出来る利用者については、声掛けを行っている。「支援計画」で確認した。</p> <p>○有償整容サービスを月に 1 回提供していることを「あきばニュース」で確認した。</p>
健康管理服薬管理の取り組み	<p>年 1 回利用者に対し、検便、歯科検診、健康診断を実施し結果を各家庭に報告している。また、希望者に対しインフルエンザ摂取を実施している。</p> <p>診断結果を看護師、嘱託医に確認して頂き、助言があった際には、各家庭にお知らせしている。</p> <p>看護師の出勤日に合わせ、体重、血圧測定を実施している。</p> <p>服薬管理については服薬管理を職員が行い、服薬する際も見守り、確認をし、落薬・誤薬の無い様努めている。また、服薬後にはチェックシートに記載を行っている。</p> <p>予備薬の管理、保管をご家族の了解に基づき行っている。</p> <p>小児糖尿者への支援として、血糖値確認、インスリン数値確認、注射時の見守り、確認をしている。</p>	<p>○年 1 回利用者に対し、検便、歯科検診、健康診断の実施をし、結果を各家庭に報告している。また、希望者に対しインフルエンザ摂取を実施している。「検便記録」・「歯科検診結果記録」・「インフルエンザ予防接種記録」・「健康診断結果表」で確認した。</p> <p>○診断結果を看護師、嘱託医に確認して頂き、助言があった際には、各家庭にお知らせしていることを「平成 28 年度嘱託医検診受信者一覧」で確認した。</p> <p>○家族には「健康診断個人成績」を渡している。</p> <p>○看護師の出勤日に合わせ、体重、血圧測定を実施している。「血圧・体重チェック」を確認した。</p> <p>○服薬管理については服薬管理を職員が行い、服薬する際も見守り、確認をし、落薬・誤薬の無い様努めている。また、服薬後にはチェックシートに記載を行っている。「服薬確認シート」を確認した。健康管理、服薬管理に関しての「健康管理マニュアル」は整備されている。</p> <p>○予備薬の管理、保管をご家族の了解の元行っている。</p> <p>○予備薬については緊急時やなくしてしまった時のための予備として支援計画の中で家族に説明している。</p> <p>○小児糖尿者への支援として、血糖値確認、インスリン数値確認、注射時の見守り、確認をしている。「支援計画」の内容に小児糖尿者への支援方法が記載されている。職員にも注意事項を配布して周知している。</p> <p>○健康管理、服薬管理に関しての「健康危機管理対応マニュアル」に整備されている。</p>
保健・医療管理支援についての取り組み	<p>年 4 回、嘱託医検診を行い、助言等があった際は、ご家庭に報告をしている。また月 2 回看護師の出勤日に血圧・体重測定を実施している。</p>	<p>○年 4 回、嘱託医検診を行い、家庭に報告している。「嘱託医問診票」に記載している。</p> <p>○月 2 回看護師より血圧・体重測定を実施している。「血圧・体重チェック表」にて確認した。</p>
日常活動	<p>作業活動 ダンボールのぼらし、組み立て、緩衝剤の袋詰め、福袋等の内装袋入</p>	<p>○(作業活動) ダンボールのぼらし、組み立て、緩衝剤の袋詰め、福袋等の内装袋入</p>

<p>支援についての取り組み</p>	<p>れ、ラベル、シール貼り、エコキャップ、名刺作成、広報誌作成、リーフレット作成等のパソコン受注作業 自主製品活動 手芸、陶芸、農園芸 外活動 散歩、スポーツ ドライブ 買い物 銀行 その他、定期的にリラクゼーションを提供している。 余暇活動 各利用者年1回の一泊旅行、年2回第二土曜日の土曜余暇活動、年1回の日帰り外出、その他個別外出を提供している。 就労継続においては、施設外実習や海老名市就労チャレンジ、パレットでの実習を行っている。 就労継続B型支援利用者に対し、工賃向上計画を計画し工賃向上を図っている。</p>	<p>れ、ラベル、シール貼り、エコキャップ、名刺作成、広報誌作成、リーフレット作成等のパソコン受注作業(自主製品活動) 手芸、陶芸、農園芸(外活動) 散歩、スポーツ ドライブ 買い物 銀行その他、定期的にリラクゼーションを提供している。上記の内容については「日中活動マニュアル」・「就労継続支援サービス重要事項説明書」で確認した。 ○(余暇活動) 各利用者年1回の一泊旅行、年2回第二土曜日の土曜余暇活動、年1回の日帰り外出、その他個別外出を提供している。「平成28年度、土曜余暇活動について」・「平成28年度、日帰り活動について」・「一泊旅行のお知らせ」で確認した。 ○就労継続においては、施設外実習や海老名市就労チャレンジ、パレットでの実習を行っている。「海老名市就労チャレンジ」の評価表にて確認した。 ○就労継続B型支援利用者に対し、工賃向上計画を計画し工賃向上を図っている。「工賃向上計画」で確認した。</p>
<p>地域生活支援の取り組み</p>	<p>地域移行に向けて、グループホームの設立、情報の提供、体験宿泊の利用、見学の付き添い等を行っている。</p>	<p>○地域移行に向けて、グループホームの設立、情報の提供、体験宿泊の利用、見学の付き添い等を行っている。「モニタリング報告書・個別支援計画書」で確認した。 ○家族向けにグループホームの見学会を実施している。 ○利用者に星谷会「グループホーム入居募集」のチラシを配布している。</p>
<p>アクセス権支援の取り組み</p>	<p>希望者に対しての送迎サービスの提供。荒天時の全員送迎を行っている。 また交通機関を利用されている通所者に対しては、通所経路のアドバイスや慣れるまで、駅への付き添い等を行っている。</p>	<p>○希望者に対しての送迎サービスの提供。荒天時の全員送迎を行っていることは「送迎乗車表」・「送迎チェック表」・「サービス提供報告書」で確認した。 ○交通機関を利用されている通所者に対しては、通所経路のアドバイスや慣れるまで、駅への付き添い等を行っている。「生活介護サービス提供実績報告書」に記録している。</p>

2-3 利用者家族へのアンケート調査の概況

ヒアリングした利用者数 男性3名(20歳代)
ヒアリング時はスムーズに質疑応答ができました。
友達も多く毎日楽しい。暖かくなったら旅行へ行きたい。スポーツをするのが好き。職員さんもやさしくしてくれる。仕事は時々忙しく感じる事がある。連絡せず遅刻をした時、時々起られる。仕事の選択や余暇時間の利用、携帯も常時使え自由で楽しい。体調の悪い時は薬をもらっている。などの声が聞かれました。

3 第三者評価のまとめ

第三者評価結果のまとめです

○事業所の特徴、独自性がみられる点

- ◇デイサービスセンター「あきば」では生活介護サービス30名、就労継続支援B型サービス10名の利用者が利用している。一人ひとりの障がい、個性、人権を尊重し、持っている力を伸ばしていけるような、日中活動の提供を行っている。また、家族支援についても相談等を受け付け、サービスの紹介等の支援を行っている。
- ◇余暇活動として、年に1回の1泊旅行、日帰り旅行、年に2回の土曜余暇活動等を実施している。行事、外出全般を利用者自治会での話し合いの中で希望を募り、職員会議で検討し、利用者の意見を反映した企画を立案している。
- ◇作業活動はダンボールのばらし、組み立て、緩衝材の袋詰め、チラシ折り、広報誌作成、リーフレット作成等、その他にも多種の作業を受注している。作業は利用者が個々に合った作業を自分で選択し、特技を生かした作業活動を行っている。
- ◇自主製品活動として、園の中に陶器窯を設置しており、利用者が陶器の製作を行っている。地域の交流の一環として地元子供会との提携で「夏休み陶芸教室」を開催している。作品は上今泉のコミセン祭で展示している。陶芸教室は毎回好評で大人向けの企画も希望されている。また、海老名市より畑を借りて、野菜作りを行っている。収穫した野菜は園の玄関先で販売している。
- ◇日中の利用者に目を配り、健康状態の把握に努めている。健康診断、検便、歯科検診を年に1回、嘱託医による検診を年に4回実施し、結果を各家庭に報告し家族との連絡を密にとり、嘱託医、看護師より健康状態や予防等のアドバイスを受けながら支援している。服薬の際には服薬後チェックシートに記載し、落薬、誤薬を防いでいる。小児糖尿者への支援については「支援計画」の中に記載され、職員全員が注意事項について周知している。また、健康維持、運動機能向上を目的として散歩、買い物、ドライブ等の他、地元の運動公園の柔道場でバランスボール、マッサージ等のリラクゼーションを実施している。
- ◇入浴支援については自宅、グループホームでの入浴が困難な利用者や、皮膚炎(アトピー性皮膚炎等)により、皮膚の清潔保持が必要な利用者で、希望者に対して支援を行っている。
- ◇各利用者の食事形態や留意点等を記載した食事カードを作成して、食事のセッティングの時に使用している。
- ◇食事支援において「あきば」では食事の時間を「大切な時間」ととらえており、職員と会話を楽しみながら、楽しく食事ができるように雰囲気作りをしている。利用者の何気ない様子にも気を配り、言葉掛けや体調等にも配慮している。食事は業者からの注文弁当を利用している。利用者が自分で選んで注文することが日常生活の中の様々な場面で自信につながっている。

○事業所のサービスの質的向上への努力が見られる点

- ◇地域移行に向けて利用者に星谷会のグループホーム入居募集を知らせ、体験宿泊の利用、見学会の付き添い等を行っている。また、家族向けにも見学会を実施している。
- ◇就労継続においては施設外実習や海老名市就労チャレンジ、パレットでの実習を行っている。
- ◇自治会や地域からのチラシや名刺の継続した作業依頼は、安定した工賃や自信となり、活発な作業と楽しみになっている。将来の目標である地域での自立した生活に向け、地域と連携し日々の支援を積み重ねている。

○事業者の課題と考えられる点

- ◇規程やマニュアルの整備もかなりの部分でされています。なお衛生管理面での細やかなマニュアルが整備される事が期待されます。
- ◇自己評価を次年度から実施とのことで、サービスの質の向上の為に是非実施される事を期待します。